

## パブリックコメント手続の実施結果について

### 1 案件名

ひらつか子育て応援プラン（第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画）（素案）

### 2 案件の概要

平塚市では、平成27年3月に策定した「平塚市子ども・子育て支援事業計画」の第1期の計画期間が令和元年度で終了するにあたり、子育てニーズの多様化、子どもの貧困や虐待への対処など、子どもを取り巻く社会環境の変化などを踏まえ、令和2年度から令和6年度までの5年間の計画期間とする「ひらつか子育て応援プラン（第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画）（素案）」を作成しました。

### 3 募集概要

#### (1) 意見の募集期間

令和元年11月22日（金）～令和元年12月23日（月）

#### (2) 意見の提出方法

持参、郵送、FAX、電子メール

### 4 実施結果

#### (1) 提出意見数

個人から	4 人	6 件
団体から	0 団体	0 件
合計		6 件

#### (2) 意見内訳

項目	件数 (件)
第2章 2 母子保健の状況	1
第3章 3 基本目標	1
第4章 基本目標1 子どもの豊かなところをはぐくむ環境づくり	1
第4章 基本目標2 安心して子育てができる環境づくり	1
第4章 基本目標3 子どもに寄り添った教育環境づくり	1
第4章 基本目標5 子どもと親の健康づくり（平塚市母子保健計画）	1
合計	6

#### (3) 意見への対応区分

項目	説明	件数 (件)
ア：反映	意見を受けて計画案等を修正したもの	1
イ：反映済み	既に計画案等に記載されているもの又は既に対応しているもの	0
ウ：参考	取組を推進する上で参考とするもの	5
エ：その他	意見募集の範囲と異なるもの、反映が困難なもの、質問など	0
合計		6

## 5 意見対応表

番号	項目	市民意見の概要	市の考え方	対応区分
1	第2章 2 母子保健 の状況	<p>10ページ</p> <p>(1) 出生時体重2,500g未満の出生割合の年次推移</p> <p>「2,500g 未満は母体のやせ志向や喫煙歴など生活習慣との関連が示唆されています。近年増加に歯止めがかかっているのは、妊娠前からの標準体重の維持や禁煙などの生活習慣の大切さについての啓発の効果と考えられます。」との記述があります。</p> <p>母体、胎児、どちらに理由があるかは様々です。上記記載では母体にのみ原因があるような誤解を受けますので、説明を追記するか、表現に配慮を頂きたいです。</p>	<p>低出生体重児となる主な原因は、子宮内発育不全及び早産です。胎児が子宮内発育不全となる理由はたくさんあり、母体因子、胎盤・臍帯因子、胎児因子の3つに大別されますが、理由が不明のことも少なくありません。健やかな妊娠・出産における行政の主な役割は、①妊婦健診に対し費用を補助し、受診しやすい環境を整備することで疾病等の早期発見・治療につなげる、②根拠に基づく適切な健康教育・保健指導を行うことです。</p> <p>御意見を反映させて、次のとおり修正します。</p> <p>「2,500g 未満の出生要因の一つである母体因子としては、若い女性のやせ志向や喫煙など生活習慣との関連が示唆されています。近年増加に歯止めがかかっているのは、妊婦健診の徹底、妊娠初期からの切れ目のない支援(保健指導・相談)、社会全体の禁煙の取組等包括的な成果と考えられます。」</p>	ア：反映

2	<p>第3章</p> <p>3 基本目標</p>	<p>43ページ</p> <p>基本目標5 子どもと親の健康づくり (平塚市母子保健計画)</p> <p>障がいや配慮が必要な子どもへの寄り添った支援の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・服薬中(要医療ケア)の子供が通える保育園の充実化</li> </ul> <p>保育園において子どもの服薬が可能か市役所で確認したところ、公立保育園では対応不可と言われました。また、私立保育園に聞いたところ、突発的な風邪薬などは対応できても、継続しての服薬はできないと言われ、保育園を諦めました。看護師常駐の保育園など、安心して預けられる場所を作っていただきたいです。</p> <p>ちなみに服薬無、現時点では発育・発達に問題がない状況であっても低出生体重児が故に今後の発育、発達に不安を抱えていることを話したところ、遠回しに保育を断られた保育園もありました。</p>	<p>保育所における服薬については、医師の指示に基づく薬のみとし、その実施については、各保育施設で基準を設けています。その基準をもとに、保護者から状況を伺いながら、保育施設の嘱託医などの専門職や保育士を交えて検討し、大切なお子様を安全にお預かりできるかどうか、慎重に可否を判断し対応しています。</p> <p>低出生体重児の受け入れ態勢については、基本的に、医師の判断で集団生活が可能であれば、入園は可能です。</p> <p>ただし、御指摘のとおり、市内すべての施設が受け入れることができる態勢ではありませんので、各保育施設にお問い合わせいただく必要があります。</p>	ウ：参考
3	<p>第4章</p> <p>基本目標1</p> <p>子どもの豊かなこころをはぐくむ環境づくり</p>	<p>51ページ</p> <p>1(3)2 家庭教育支援の充実</p> <p>金目地区に図書館の分館を作りたいです。</p> <p>読書活動の推進を図る事は素晴らしいと思います。ただ、金目地区から平塚市内の図書館は遠過ぎて、車がないと簡単に利用できません。図書館は本を借りるだけでなく、その空間で寛いだり、沢山の本を眺めたり、読んだりすることにも価値があります。金目地区は、子ども達が読書活動に触れる機会が限られています。読書や教育は街の財産になります。この地区にも平日土日使える、図書館の分館をぜひ作ってください。</p>	<p>図書館に限らず、本市の公共施設は高度経済成長期を中心に整備しており、今後多額の更新費用が必要となります。</p> <p>しかし、今後の少子高齢化の進展や人口減少が見込まれる中では、現在の施設をすべて維持管理、更新していくことは難しい状況にあります。そのため、複合化や統廃合を含めた検討、長期的視点に立った老朽化対策などによって、財政負担を減らして、今ある公共施設を有効活用していくことが求められています。</p> <p>新たな施設を建設することは困難な状況ですが、御意見については真摯に受け止めるとともに、子ども達をはじめ、様々な方が読書を楽しみ、学ぶことができるよう、図書館サービスの提供に努めてまいります。</p>	ウ：参考

4	<p>第4章 基本目標2 安心して子育てができる環境づくり</p>	<p>58ページ 2(2)7 活動場所の確保 60ページ 2(3)8 民間団体との連携</p> <p>ひらつか子育てプランが充実しているのは感じますが、将来を担うこどもの「食」について、あまりプラン化されていないと思いました。通学も進学も「生きることは食べることから」の基本的な身体づくり、食の重要性が盛りこんでいないと思いました。</p> <p>そこで提案したいのが、こども食堂（地域食堂）への支援です。公民館をこども食堂（地域食堂）の為に使用できるようにしてほしいと思います。</p> <p>ひらつかのこども、高齢者の為に公民館をこども（地域）食堂として使用できる門戸を開いてください。</p>	<p>ひらつか子育て応援プランは、子育てに関わることを中心とした市の施策の取組を体系化したものであり、「食」については、別に「平塚市食育推進計画」を中心として施策展開をさせていただいています。</p> <p>「こども食堂」については、子どもを支えるための市民活動との連携の取組として、学習支援やこども食堂に関する県などの関連事業の情報提供等を行い、子どもを支援する環境づくりに努めてまいります。</p> <p>また、本市の公民館の団体利用に関しては、多くの方に学んでいただくために占有や優先予約を禁止したり、学びの時間を有意義に確保していただくために飲食を制限したりといった基準を定めています。さらに、公民館は登録団体の会員相互の学びの場であり、団体から不特定の方に呼び掛ける活動は、会員募集のための体験会や成果発表に限らせていただいています。</p> <p>なお、公民館を拠点とした異世代交流については、団体等のお声をいただきながら、公民館主催事業等で、機会を創出して参りたいと考えています。</p>	ウ：参考
---	---	---	---	------

5	<p>第4章</p> <p>基本目標3</p> <p>子どもに寄り添った教育環境づくり</p>	<p>68ページ</p> <p>施策2 相談活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適応指導教室くすのきでは中学生を対象としているが、小学生の居場所がないので作ってほしい。</li> <li>・くすのき自体の予算も少ないのもっと予算を出してほしい。</li> <li>・くすのきに来られていない中学生の居場所もほしい。</li> <li>・個別訪問の先生は1人居られるけど、もっと増やしてほしい。</li> <li>・不登校児の親同士の交流の場をもうけてほしい。</li> <li>・窓口で、不登校児の親や経験者が対応できるようなシステムがあれば困っている親子は救われます。</li> <li>・個々の個性に寄りそってくれる人材を確保していただきたい。</li> <li>・周囲へくすのきなど不登校児がいられる居場所を周知してもらいたい。</li> <li>・学校では個性を生かされていないため、個性を生かす教育を出来る場がほしい。</li> </ul>	<p>適応指導教室くすのきは、平塚市立小・中学校に在籍している児童・生徒を対象としています(令和2年3月現在)。一人一人の個性を大切にし、適切な支援をするために専門のスタッフの充実に努めるとともに、適応指導教室の運営に係る予算の確保に努めてまいります。適応指導教室の活用については、今後も市のホームページや、小・中学校を通じて周知してまいります。</p> <p>適応指導教室の保護者会では、保護者同士が交流・情報交換を行う場を設定しています。今後も継続していくとともに、不登校を経験した方の話を聞くことができるような機会の設定については、今後検討してまいります。</p> <p>平塚市立小・中学校全校にスクールカウンセラーを派遣しています。今後も相談室等が不登校児童・生徒にとって居場所の一つとなるよう、スクールカウンセラーを含めた校内支援体制を整えてまいります。また、訪問相談のニーズに対応できるように相談員の充実に努めてまいります。</p>	ウ：参考
---	---	---	--	------

6	<p>第4章</p> <p>基本目標5</p> <p>子どもと親の健康づくり(平塚市母子保健計画)</p>	<p>75ページ</p> <p>5(1)②1 乳幼児健康診査</p> <p>乳幼児健康診査の受診は月齢のみとなっていますが、早産時の場合、月齢受診では正しい健診が難しいため、修正月齢(本来の出産予定日から数えた月齢)で受診ができるように改善いただきたいです。</p> <p>子どもが問題なく発育、発達しているかを確認するための検査のほすが、現状は制度に子どもを合わせており、本質からずれているように感じます。修正月齢での受診が可能な自治体もある中で、平塚市はなぜ対応できないのでしょうか、見解をお願いしたく存じます。</p> <p>正しい時期に正しい検査をすることが、問題の発見に繋がると思いますので修正月齢での受診について前向きに御検討をお願いいたします。</p> <p>未熟児が減少している状況において、未熟児を想定した制度を策定することは難しいと思います。であるからこそ、実際に困っている声が挙がった場合には、そもそもの目的に立ち戻り、柔軟に御判断いただきたく存じます。</p>	<p>行政が実施する乳幼児健診は母子健康手帳(省令様式)等に掲載されている発達の目安を参考に、集団あるいは個別で実施します。健診においてその目安から離れている場合は、個別的にきめ細やかに支援しています。</p> <p>こどもの発育発達や体調には個人差があるため、現状ではすべてのお子様の成長の速度に合わせた健診の機会を提供することは困難ですので、個別の対応が必要な場合は、事前に御相談をいただければ可能な範囲で対応いたします。</p>	ウ：参考
---	---	--	---	------

<お問い合わせ先>

平塚市健康・子ども部保育課

電話：0463-21-9842

電子メール：hoikuka@city.hiratsuka.kanagawa.jp

結果公表日

令和2年3月27日